

平成26年8月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成26年8月27日(水) 午後1時30分
- 2 場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室
- 3 委員氏名
- | | |
|----------|---------|
| 委員長 | 武 輪 節 子 |
| 委員長職務代行者 | 築 瀬 眞知雄 |
| 委員 | 岡 本 潤 子 |
| 委員 | 大 庭 文 武 |
| 教育長 | 伊 藤 博 章 |
- 4 職員氏名
- | | |
|--------------|--------------|
| 教育部長 | 佐 藤 浩 志 |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 澤 田 多嘉男 |
| 教育部次長 | 嶋 脇 郁 夫 |
| 図書館長兼市史編纂室長 | 藤 田 俊 雄 |
| 学校教育課長 | 齋 藤 信 哉 |
| 教育指導課長 | 正部家 光 彦 |
| 社会教育課長 | 田 中 勉 |
| 是川縄文館副館長 | 前 田 美智子 |
| 総合教育センター所長 | 木 村 一 夫 |
| 博物館副館長 | 小笠原 善 範 |
| 図書館副館長 | 千 葉 玲 子 |
| 教育総務課参事 | 尾 崎 雅 祥 (欠席) |
| 学校教育課参事 | 茨 島 隆 |
| 東地区給食センター所長 | 中 里 親 弘 |
| 西地区給食センター所長 | 清 川 彦 一 |
| 博物館参事 | 古 里 淳 |
| 教育総務課主幹 | 松 橋 洋 |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤 正樹

| | |
|---------------|--|
| 武輪委員長 | <p>ただいまから、平成26年8月の教育委員会定例会を開会いたします。 本日の議事録署名は大庭委員を指定いたします。 それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いいたします。</p> |
| 伊藤教育長 | <p>(資料に基づき説明)</p> |
| 武輪委員長 | <p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> |
| 武輪委員長 | <p>無いようですので次に移ります。本日は議案の提出がございませんので、報告事項に参ります。</p> <p>はじめに、「八戸市立学校新西地区給食センター建設について」報告を受けることといたします。</p> |
| 齋藤学校教育課長 | <p>(資料「八戸市立学校新西地区給食センター建設について」に基づき説明)</p> |
| 武輪委員長 | <p>ただいまの報告につきまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> |
| 武輪委員長 | <p>無いようですので、次に移ります。「『青少年のための科学の祭典2014』八戸大会の実施について」報告を受けることといたします。</p> |
| 木村総合教育センター一所長 | <p>(資料「『青少年のための科学の祭典2014』八戸大会の実施について」に基づき説明)</p> |
| 武輪委員長 | <p>ただいまの報告につきまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。</p> |
| 築瀬委員 | <p>台風接近ということで理由が分かったのですが、天候に恵まれないという面もあったんですけども、昨年度と比べたら100人くらい少ないようだったんですが、2日目は早く終わったのに3,000人を超えていて昨年よりも実績が多かったようです。そうすると、続けていればもっと入っていたのかなという気もするのですが、そういう悪条件の中でも関係者の方々のご苦勞も報われたのかなと思って感謝しております。</p> <p>ただ、2日目の終了時刻が午後2時になった理由は今分かったんですが、実は私</p> |

| | |
|-----------------------------|---|
| | <p>1日目と2日目の午後2時頃まで用事があって行けなくて、ちょうど2時過ぎに行ったんですね。そしたら片付けていたので、4時までじゃなかったのかなというふうに思ったんです。案内状とか広報、新聞紙上にも4時と書いていたので、私は家がすぐ近いので何も不自由はなかったのですが、例えば遠方の方とかで知らないで2時過ぎに来たら終わっていたということで何かトラブルというか、そういうことはなかったでしょうか。</p> |
| <p>木村総合教育センター 一 所長</p> | <p>今ご指摘ありましたとおり、2時過ぎてからも子ども連れで見えたお父さん、お母さんもいらっしゃいました。その方々には、委員長さんが直々に理由を説明して帰っていただいたんですが、残念がる親子もいました。</p> <p>2日目が悪天候にも関わらず来場者が増えたのは、前日の催しについて新聞に取り上げていただいたこともあるかなと思っています。ただそのときに、台風接近はこの10日に分かったわけではないので、記事を書いてもらうのであれば「場合によっては早めに打ち切ることもある」というふうにその時点で載せれば良かったかなと思っています。</p> |
| <p>築瀬委員</p> | <p>所長さんの説明でよく納得したんですが、私も同じことを考えていました。例えば、案内要項とかに「不測の事態なり、緊急事態の場合には終了時刻が早まることもあります」とか、そんなに長くは書けないと思うんですけども、どんな行事でも言えることなんですけど、そういった趣旨のことを一言添えておくということは大事なことじゃないかなと思ったんです。特にこの科学の祭典を楽しみに来る子どもとか親も多いので、今所長さんがおっしゃったことをこれからちょっと考えてもらえればいいなと思います。</p> <p>そうすると、トラブルというようなことではなくて、説明して分かってもらって帰ったということがあったということですね。当日は、玄関とか入口にそういう事情のことを貼り出したりしたんでしょうか。</p> |
| <p>高谷総合教育センター 一 副所長</p> | <p>2日目、2時過ぎてから来館されたご家族は3家族ほどいらっしゃいました。先ほど所長がお話ししましたとおり、委員長さんから実験解説集をお渡しして、お詫びしながら帰っていただいたんですが、急遽のことでしたので、児童科学館、体育館、福祉公民館の玄関にそれぞれ「台風接近のために今日は2時で終わります」ということで貼り紙をして、お知らせした次第でございます。</p> |
| <p>築瀬委員</p> | <p>はい、分かりました。片付けていたので私は中まで入っていかずに駐車場で帰ったんですけども、そういうふうな手立てをしていけば納得して帰ったんじゃないかなと思います。緊急時の対応というのは、これだけに関わらず非常に難しいとは思いますが、今のような手立てもその場で講じていただいて良か</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>大庭委員</p> | <p>ったなと思っています。今後とも先ほどの反省点も踏まえながら、この科学の祭典については、教育委員会だけではなくて本当に多くの方々の協力で成り立っている行事だと思いますので、是非、継続発展させていっていただきたいなと思っています。</p> <p>私も感想ですけれども、私は初めてこの科学の祭典に参加させていただきました。1日目でしたけれども、そこでの感想なんですけれども、今盛んに理科離れ、あるいは将来日本の科学はどうなるのかということが指摘されている中で、子どもたちが、特に私が感じたのは体育館での体験コーナーでいろいろ興味を示しながら、保護者の方と一緒にいろいろなやっていました。これはやはり高校生くらいになると手遅れの部分もあるので、小さい頃から科学に興味関心を持たせていくという意味で、貴重な体験を子どもたちはしているなというふうな思いで見させていただきました。</p> <p>あとこれは願わくばということですが、あれだけ関心を持って子どもたち保護者の方が集まっていますので、それをできれば日常の児童科学館への来館者を増やすというところにうまく繋げていく工夫をしていただければ、子どもたちの継続的な科学への関心というのが深まっていくのかなという気がしております。通常時の児童科学館にお邪魔したときに、ちょっと寂しいかなと、もうちょっと子どもたちが来てくれれば良いなと思いました。いろんな装置はありますので、あの辺をもう少し活用して、あるいは新しいものに変えていくというふうなことで、さらにそういう部分で繋げていただければ、子どもたちにとってさらに良い機会になるのかなという感想を持ちました。</p> |
| <p>武輪委員長</p> | <p>私も感想ですが、私も初日にお伺いして、大変楽しませていただきました。今回で3回目ですが、毎年あって子どもたちも毎年楽しみにしているコーナーと、またさらにいろいろ考えてくださって、新しいコーナーもあるという形で、毎年伺っても、また2日間伺っても楽しめるような形で考えられているのでとてもいいなと思いました。</p> <p>ちなみに、この裏面のブース一覧の46番に「空飛ぶ輪」というのがありますが、実際に私も折り方を聞いてこのようにチラシで折って、これが飛行機となって飛ぶんですけれども、これが非常に良く飛ぶ輪なんです。折り方は端っこをただ折っていただけなんですけれども、飛ばし方によっては広い体育館の端から端までこの輪が飛んでいくということでもとても不思議なんですけれども、たぶん簡単な理論でこうなっているんだと思います。それでこれを家に持ち帰ったところ、中学生の息子と大学生の息子も大変喜んで遊びました。難しいことではない、こういう簡単なものでも科学として楽しめるというところで非常に毎年楽しませていただいております。スタッフの方々、本当にお疲れさまでした。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 武輪委員長 | 次に「八戸藩開藩 350 年記念特別展『八戸と 9 人の藩主』」展覧会の終了について」事務局からの説明をお願いいたします。 |
| 小笠原博物館副館長 | (資料「八戸藩開藩 350 年記念特別展『八戸と 9 人の藩主』」展覧会の終了について」に基づき説明) |
| 武輪委員長 | ただいまの報告につきまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。 |
| 大庭委員 | <p>アンケートの中で全体が暗いというような指摘があったようですけれども、そういう資料に関わっていない人にとっては、保存のためにちょっと照明を落としているということが意外に理解されていないと思います。ですから、入口にでも「保存のために照明を落としています」ということが一言でもあれば、納得してもらえるのかなと思います。古文書とかいろいろ貴重なものを展示するのであれば、やはり照明を落とすと思います。そういうことを一言入れておいていただければ、納得していただけた部分があるのかなと思いました。</p> <p>それから、私自身の感想ですけれども、藩主に焦点を当てた特別展示ということで、非常に意味があったと言いますか、貴重な展示だったと思います。初日と最終日に行ったんですけれども、最終日も結構人が入っているなという感じで賑わっていましたので、良かったなと思いながら拝見しました。2 回行ったのは、5 代藩主の信興公が自ら描いた大黒天図に 1 回目見たときに非常に惹かれまして、絵そのものは自ら描かれているわけですけれども、その笠と大黒天の間に入っていた道徳的なことを扱った歌が非常に気に入って、「上見れば 及ばぬことの 多かりき 笠着て暮らせ 己が心に」とありました。2 万石という小藩で飢饉に苦しんでいた当時の藩主が自らを戒めていくと言いますか、「笠着て暮らせ 己が心に」ということで、それが後の南部家の家訓の一つにもなったということを知りました。ああいうものに触れる機会は普段はなかなかないので、そういう意味でも非常に貴重な経験をさせていただいたと思っています。</p> |
| 武輪委員長 | 他にございませんでしょうか。 |
| 武輪委員長 | 無いようですので、その他、事務局から報告事項はございますでしょうか。 |
| 武輪委員長 | 事務局からは以上のようなようです。それでは最後にその他ですが、委員の皆様方から何かございますでしょうか。 |
| 岡本委員 | 1 番最初に教育長がお話をした今後の予定の中の 8 月 28 日のところに、明日 |

からですけれども、教育委員先進地視察ということで日野市、立川市と書いてあります。教育も幅が広くて、社会教育から学校教育、それから幼児期の教育と様々な教育の観点があるということに、自分自身でも気付いていたつもりではあったんですけれども、いざ委員となってみても、給食から建物の構造、また社会教育課等がしていらっしゃることは、今市民の方々が大変関心のある方々を招聘することとか、博物館も美術館もみんなそうですけれども、その幅の広さを感じています。そういう全部のエキスパートではまったくなく一市民なので、いつもそのことを念頭に置いて定例会などにも参加し、必要があればいろんなことを調べたりということは、各委員の先生方はみんなしていらっしゃると思うんですけれども、今まで外に出るということがあまりありませんでした。教育は井の中の蛙になってしまいがちだということを、教育以外の方からよく言われることがあって、やはり外に目を向けるということが非常に大事だと思います。外ばかり見過ぎて地域とかけ離れたことを思い浮かべるのは違いますけれども、そういうことをする必要性を非常に感じていた中で、このような機会をいただけるというのは非常に嬉しいことだなというふうに思います。この場所を選ぶに関しても教育総務課の方々からいろいろ送ってくださる資料を委員もいろいろ目を通しておりますので、その中でこういうところに行ってみたいとか、八戸市にもこういうものが必要ではないかということで選んで行かせていただくのですから、是非こういう機会を大事にしたいと思います。教育委員としては、ただ座って皆様のお話を聞いているだけでないことは皆様自身がよくお分かりのこととは思いますが、教育長も一緒に行っていただくということで、大変これは有意義な機会であるなというふうに思っています。

築瀬委員

今日の報告や議案にはないんですが、子どもたちの夏休み中に、南部藩ゆかりの都市との交流事業が事前研修から始まってずっと継続して行われていました。そのことについて6月の定例会の場においても触れたんですが、八戸市と遠野市や紫波町との繋がりについて、派遣児童だけではなくて市内全部の小学生が、せめて高学年の子どもたちはそのことについて認識してほしいなということでお話ししたんですが、そのことについては結団式のときに小林市長さんも触れていました。今月の8日に開催された報告会のときは、派遣児童から体験したことや学んだことを学校のみならず家族にも是非伝えたいという発言があって、私はとても嬉しく思いました。自分のためだけに行くのではなくて、やはり八戸全体のためにというふうなことで発言したと思っていて、とても嬉しく思いました。是非市内の全小学校において、そういった意識が高まってくればいいなと思っています。

それから、当日小林市長さんからもお褒めの言葉がありましたが、決してお世辞ではなくて、本当に表現内容とか方法などアイディアいっぱい、楽しい中に

自分たちが学んだことをきちっと盛り込んでいるということ、やはり未来がある子どもたちの代表ですのでとても頼もしく思いました。この事業にあたっては、教育指導課を中心に大変なご苦勞をされているわけですが、この場を借りて感謝申し上げまして、また来年度以降も是非、継続発展をさせていっていただきたいと感じております。

そして最後ですが、先ほど「八戸と9人の藩主」の展覧会の報告もありました。その中にこの南部藩ゆかりの都市との交流事業での受入れをして、子どもたちを含めて派遣使節団の方々が見ていったということで、私の願いはそのことを遠野市に帰って八戸との繋がりをこうやって自分の目でも確かめてきているということ、これを是非伝えてほしいなと思いつつ、展覧会を見たり今も報告を聞いていました。先ほどは言いませんでしたが、時期が重なってとても良かったなということで、今そのことも含めてお話をさせていただきました。お互いにとてもいい展覧会であり交流事業であったなと思っています。時期は偶然重なったのかとは思いますが、やはりそういうことも含めながら、前にも大館の新田城まつりのこともお話ししたんですが、やはりその中にどこか関係付けながら、子どもたちが八戸の未来を見据えていくといったことができればいいなと思っていました。ご苦勞様でした。

武輪委員長

それではこれを持ちまして、平成26年8月の教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

(午後2時25分終了)